

[TOP](#)
[青年会議所とは](#)
[理事長所信](#)
[委員会](#)
[事業計画](#)
[事業報告](#)
[スケジュール](#)
[組織図](#)
[入会案内](#)
[リンク](#)
[お問い合わせ](#)
[里山再生
ホテルブログ](#)


わんぱく相撲

[JC関連](#)
[JCI](#)
[日本青年会議所](#)
[北信越地区
協議会](#)
[新潟ブロック
協議会](#)

2008年度 理事長所信


 2008年度 (社)新津青年会議所
第52代理事長 小林俊明

 2008年度
(社)新津青年会議所 スローガン

新しい扉を開けよう!!

 ～この故郷と明日のJCへ～
ふるさと

日本を代表する信濃川・阿賀野川という二大河川に囲まれ、広大な農地、そして自然豊かな里山に恵まれた新潟市秋葉区。この故郷において我々青年が一つの理想と使命感を持ち、新しい扉を開け続けます。混沌としている今だからこそ我々が社会の先導者として地域社会を創造する責任を担い、青年としての英知と勇気と情熱を持って魅力溢れるJC運動を進めて参ります。

～継承そして未来へ～

1956年5月15日に誕生した新津青年会議所は今年で52年を迎えます。昨年、創立50周年記念式典を挙行し、50年の歳月を振り返る機会を与えてもらいました。多くの諸先輩方から支えられ、熱き想いと積極的なJC運動があったからこそ、今日の(社)新津青年会議所があるのです。受け継がれた数々のまちづくり運動の歴史と伝統を大切に、明るい豊かな未来へ向けて立ち上がる時なのです。50年という大きな節目が過ぎ、そこを単なる通過点として捉えるのではなく、今一度(社)新津青年会議所の現状を見渡し、我々が描く未来像をより具体化していく必要があります。

2008年度(社)新津青年会議所のスローガンは「新しい扉を開けよう!!」であります。これは新しいJC運動へのチャレンジでもあります。今こそ勇気を出し一歩踏み出して欲しいのです。その先には多くの人との出会いが生まれ、人の輪ができ、大きな感動があるはずです。我々は地域の先導者として、目先の扉だけではなく、未来を見据えた新しい扉を開け続けなければなりません。

～美しい故郷へ～

現在、大気汚染・水質汚染・廃棄物汚染・温暖化など、地球規模での様々な環境破壊が発生しています。いずれも私たち人間は、誰もが被害者であり、加害者でもあります。高度成長期には、我々の住む故郷でも工場・生活廃水により河川が汚染され、農薬散布、河川整備等によって、生き物の住みにくい環境を作りだしてしまいました。今だからこそ自然環境と調和した「まちづくり」が必要です。自然と向き合い、自然を愛し、未来を生きる子どもたちのために、今できる事から始めなければいけません。そこで、我々は豊かな自然環境の象徴的な生き物であるホテルに着目し、ホテルが生息しやすい環境づくりについて市民の方々と一緒に取り組んでいきます。子どもたちに、そしてこの故郷に希望の光を灯していきましょう。

～次代へ向けて～

全国的に青年会議所の会員数が減少しており、我々(社)新津青年会議所の会員数も年々減少しているのが実態です。現在では私が入会した時の半以下の会員数となり、深刻な問題となっています。明日のJCのためにも一人でも多くの同志が必要です。それには我々一人一人が常に輝いて、強い心を持ち続けることが最も重要なことでもあります。JC運動を通して培った修練・奉仕・友情を実践し地域のリーダーとして輝き、地域に必要とされる青年会議所でなければいけません。魅力あるJC運動こそが人材発掘への大きな鍵といえます。今年度は次代へ向けての新しい仲間づくりに力を入れてJC運動の輪を最大限に広げていきます。新たな半世紀を目指して、(社)新津青年会議所は歩み始めます・・・